

安全目標・安全重点施策

中期の経営計画に基づき毎年度、安全目標と安全重点施策を定め、目標の達成に向けて、施策の進捗および実績の管理を行っています。

11 住み続けられる
まちづくりを



2019年度 安全目標・安全重点施策

2018年度から新たにスタートした中期3カ年経営計画に、安全性向上に向けた施策を掲げています。

2020年度に向けた中期3カ年経営計画(2018年度～2020年度)

- 事故や輸送障害、テロ行為の未然防止に向けた施策の実行
- 自然災害への対応力と危機管理体制の強化
- 京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業の推進
- 自然災害対策をはじめとした減災対策の実施
- ホームドアや転落防止固定柵の設置によるホーム安全対策の実施
- 老朽設備の着実な更新による保安度の向上

(鉄道の安全性向上への取り組みを抜粋)

2019年度 安全目標

有責事故ゼロと運転事故・輸送障害発生件数の前年比削減

2019年度 安全重点施策

- | | |
|---|---|
| <p>1. 事故・トラブル対策</p> <p>(1) 安全目標達成に向けた事故・トラブルの未然防止と再発防止</p> <p>2. 災害・危機管理</p> <p>(1) 各種訓練や平時における防犯対策によるテロ対策の推進</p> <p>(2) サイバー攻撃に対する防衛能力向上</p> <p>3. 安全意識の高揚</p> <p>(1) 安全啓発室の各種コンテンツ拡充</p> <p>(2) グループ会社を含めた安全意識高揚と事故防止力向上</p> <p>4. 人材育成・活用</p> <p>(1) 経験年数や職位に応じた階層別の研修・教育の継続実施</p> | <p>5. 中長期施策の推進</p> <p>(1) 京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業の推進</p> <p>(2) 新宿駅・新線新宿駅・橋本駅の駅改良計画の推進</p> <p>6. 減災対策</p> <p>(1) 構造物の耐震補強工事の継続実施</p> <p>(2) 気象情報システムの更新</p> <p>7. ホーム安全対策</p> <p>(1) 飛田給駅へのホームドア整備</p> <p>(2) 転落防止固定柵や注意喚起ラインの整備</p> <p>8. 老朽化対策</p> <p>(1) コンクリート構造物の補修工事の継続実施</p> <p>(2) 列車運行管理システムの更新</p> <p>(3) 京王線8000系車両、井の頭線1000系車両のリニューアル</p> |
|---|---|

2019年度 輸送安全実績

鉄道運転事故などの発生件数(2015年度～2019年度)

2019年度は、鉄道運転事故が4件(対前年度7件減)、輸送障害が21件(同5件減)発生しました。インシデントは前年度に引き続き発生しておりません。

■ 鉄道運転事故とは

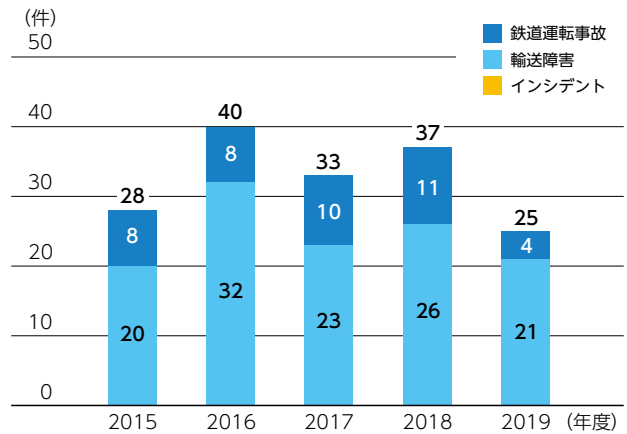
「列車衝突事故」「列車脱線事故」「列車火災事故」「踏切障害事故」「鉄道人身障害事故」「鉄道物損事故」をいいます。

■ 輸送障害とは

鉄道による輸送に障害を生じた事態で、鉄道運転事故以外の運休、また列車に30分以上の遅延が生じたものをいいます。

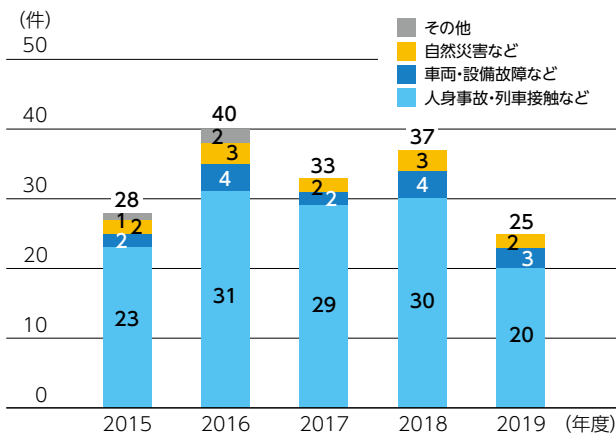
■ インシデントとは

事故には至らなかったが、鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められる事態をいいます。



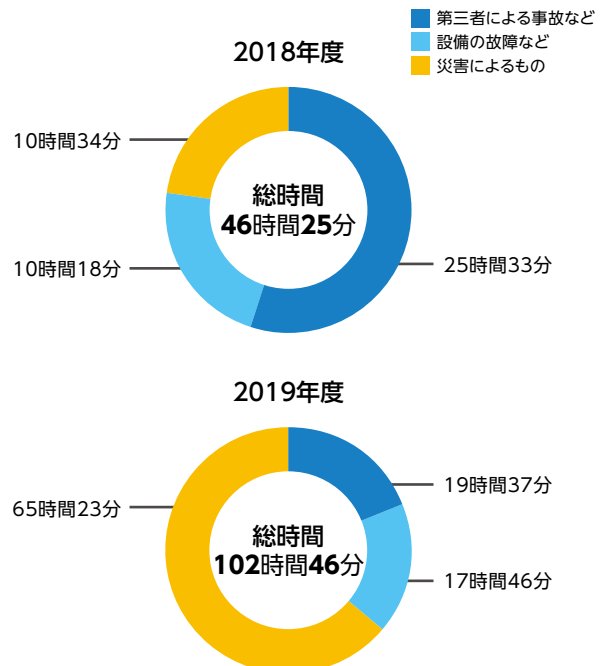
鉄道運転事故などの発生原因(2015年度～2019年度)

2019年度は、駅や踏切道での人身事故や列車との接触などが20件発生しました。また、変電所火災などの設備トラブルが3件発生しました。その他、台風など自然災害を原因とする輸送障害が発生しました。



鉄道運転事故・輸送障害に伴う運転見合わせ時間

2019年度の運転見合わせ総時間は、設備トラブルや2度の大型台風の影響により対前年度で56時間21分の増加となりました。



2019年度に発生したトラブルおよびその後の対処

台風による輸送障害

台風15号・19号では台風対応タイムラインに基づく計画運休の実施などにより、上陸に備えましたが、記録的な強風・大雨により、倒木や土砂崩壊が発生し、長時間にわたり運転を見合わせました。

▶台風15号

- 【発生日時】 2019年9月9日(月) 4時37分
- 【発生場所】 駒場東大前駅～池ノ上駅間ほか
- 【発生事象】 強風による倒木が架線を支障



駒場東大前駅～池ノ上駅間での倒木

▶台風19号

- 【発生日時】 2019年10月13日(日) 8時30分
- 【発生場所】 高幡不動駅～多摩動物公園駅
めじろ台駅～狭間駅間
- 【発生事象】 大雨による線路内への土砂流入
- 【その他】 多摩川・浅川流域エリアで運転を見合わせ



高幡不動駅～多摩動物公園駅間での土砂崩壊

▶対策の実施

激甚化する台風など異常気象に対しては、法面の補強工事や隣地の樹木伐採を継続していくほか、お客様や従業員の安全確保および施設の機能確保に向けて浸水想定区域図(ハザードマップ)等を基に次のような対策を行ってまいります。

- 避難指示が発令された際の連絡体制の確立
- 車両基地への浸水に備えた、車両疎開の実施計画の策定
- 重要施設への浸水被害軽減に向けた計画の策定



台風通過後の京王線多摩川鉄橋

変電所火災による輸送障害

- 【発生日時】 2019年7月19日(金) 4時49分
- 【発生場所】 京王永山変電所
- 【発生事象】

- 変電所内に残置された工具の地絡により火災が発生
- 地絡電流の継続により、火災が拡大し停電が発生

【対策】

- 工具の数量確認に関するルールを策定し、点検終了後の確認作業を明確化
- 変電所通信回線の地絡耐性強化、事故時の送電遮断装置を新設
- 風化防止を目的として、安全啓発室内に原因となった機器を展示



火災直後の変電所内部

2020年度 安全目標・安全重点施策

2020年度 安全目標

- (1)有責事故ゼロと運転事故・輸送障害発生件数の前年比削減
- (2)新型コロナウイルス等の感染症への対応策の策定と実施

2020年度 安全重点施策

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 事故・トラブル対策 <ul style="list-style-type: none"> (1)安全目標達成に向けた事故・トラブルの未然防止 (2)事故やトラブルの原因分析と再発防止に向けた安全対策の実施 2. 災害・危機管理 <ul style="list-style-type: none"> (1)関係機関との連携によるテロ対策の推進 (2)サイバーセキュリティ対策の推進 3. 安全意識の高揚、人材育成・活用 <ul style="list-style-type: none"> (1)安全啓発室における安全教育の拡充 (2)経験や職位に応じた教育を通じた質の高い社員の育成 4. 中長期施策の推進 <ul style="list-style-type: none"> (1)京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業の推進 (2)新宿駅・新線新宿駅の駅改良計画の推進 | <ol style="list-style-type: none"> 5. 減災対策 <ul style="list-style-type: none"> (1)構造物の耐震補強工事の継続実施 (2)高尾線の法面改修工事の継続実施 6. ホーム安全対策 <ul style="list-style-type: none"> (1)下北沢駅のホームドア設置に向けたホーム補強工事の継続実施 (2)転落防止ゴムや注意喚起ラインの整備 7. 老朽化対策 <ul style="list-style-type: none"> (1)コンクリート構造物の補修工事の継続実施 (2)京王線8000系車両、井の頭線1000系車両のリニューアル 8. 新型コロナウイルス感染症対策 <ul style="list-style-type: none"> (1)お客様と社員の感染予防、拡大防止の徹底 |
|--|---|

topics

■ 新型コロナウイルス感染症に関する動画配信

お客様が安心して鉄道をご利用いただけるように、動画投稿サイトの当社公式チャンネルにおいて、駅や車両の感染予防の取り組みを紹介する動画を配信しています。また、「Enjoy Home(おうちで楽しもう)」と題し、ご自宅にしながら、車窓の風景をお楽しみいただけるよう、運転台からの風景動画をシリーズ配信しています。



感染予防の取り組みを紹介する動画



運転台からの風景動画